

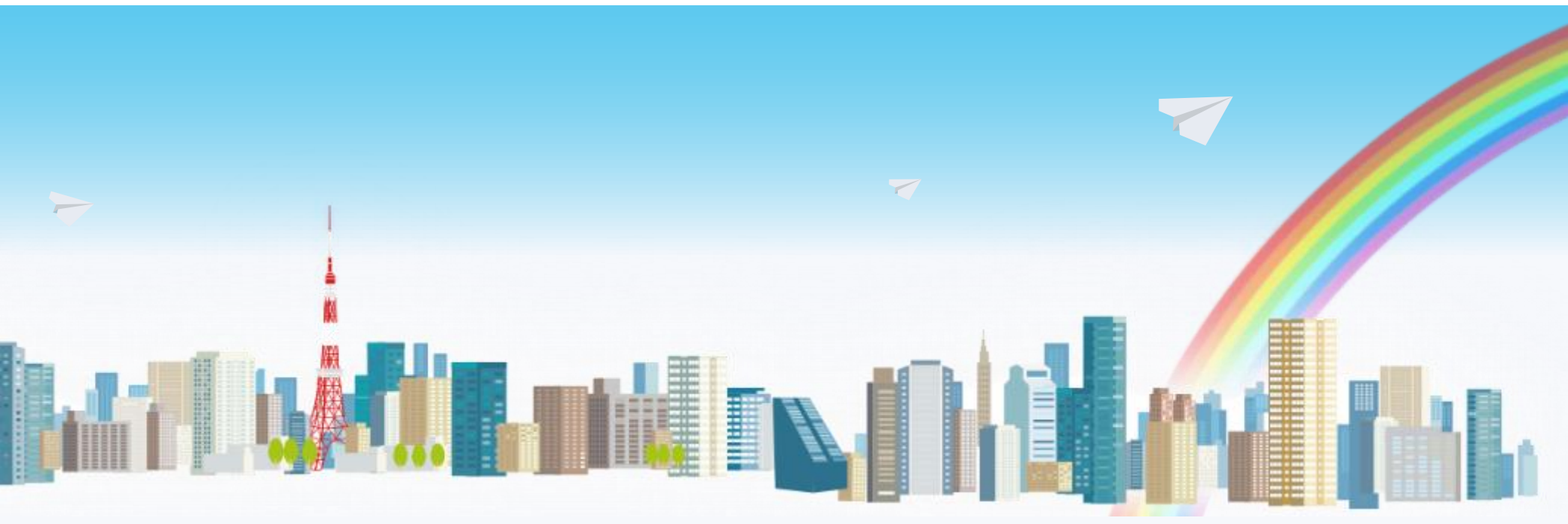
2025年1月17日



2024年11月期 決算説明資料

AHCグループ株式会社

証券コード：7083



1	2024年11月期 実績	3P
2	2024年11月期 主要取組事項	14P
3	2025年11月期 通期業績予想	18P
4	成長戦略	24P
5	補足資料（会社・事業概要）	29P



1	2024年11月期 実績	3P
2	2024年11月期 主要取組事項	14P
3	2025年11月期 通期業績予想	18P
4	成長戦略	24P
5	補足資料（会社・事業概要）	29P



- 既存事業所の売上の回復と前期に開設した事業所が順調に立ち上がり、売上高は前期比353百万円増の6,268百万円、営業利益は前期比124百万円増の144百万円となった

(単位：百万円)

	2023年11月期 実績 (2022/12～2023/11)		2024年11月期 実績 (2023/12～2024/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	5,915	100.0%	6,268	100.0%	353	6.0%
売上原価	5,401	91.3%	5,569	88.8%	167	3.1%
売上総利益	513	8.7%	699	11.2%	185	36.1%
販売費及び一般管理費	493	8.3%	554	8.8%	61	12.4%
営業利益	20	0.3%	144	2.3%	124	609.0%
経常利益	70	1.2%	154	2.5%	84	119.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	1.1%	98	1.6%	30	44.9%



- 売上高は福祉・介護・外食のいずれも予想を達成した
- 営業利益は、販売費及び一般管理費の上昇により予想を下回ったものの、経常利益・当期純利益については、予想を上回る結果となった

(単位：百万円)

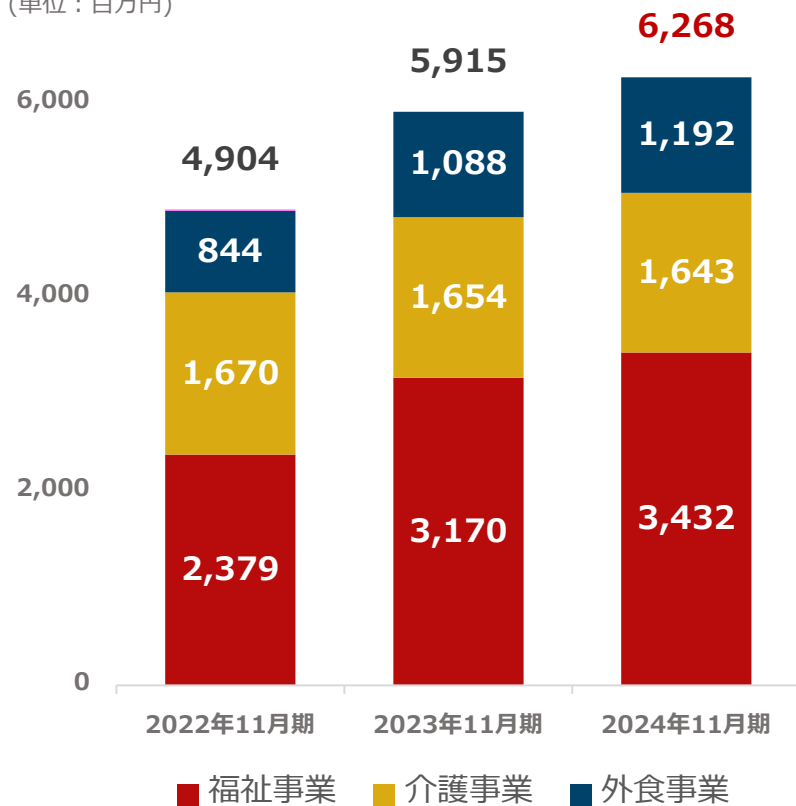
	2024年11月期 予想 (2023/12～2024/11)		2024年11月期 実績 (2023/12～2024/11)		修正予想比 増減額	修正予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	6,236	100.0%	6,268	100.0%	31	0.5%
営業利益	151	2.4%	144	2.3%	△6	△4.2%
経常利益	145	2.3%	154	2.5%	8	6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	90	1.5%	98	1.6%	7	8.4%



- 売上高は初めて6,000百万円を達成
- 経常利益については前期の2倍超となる154百万円となった

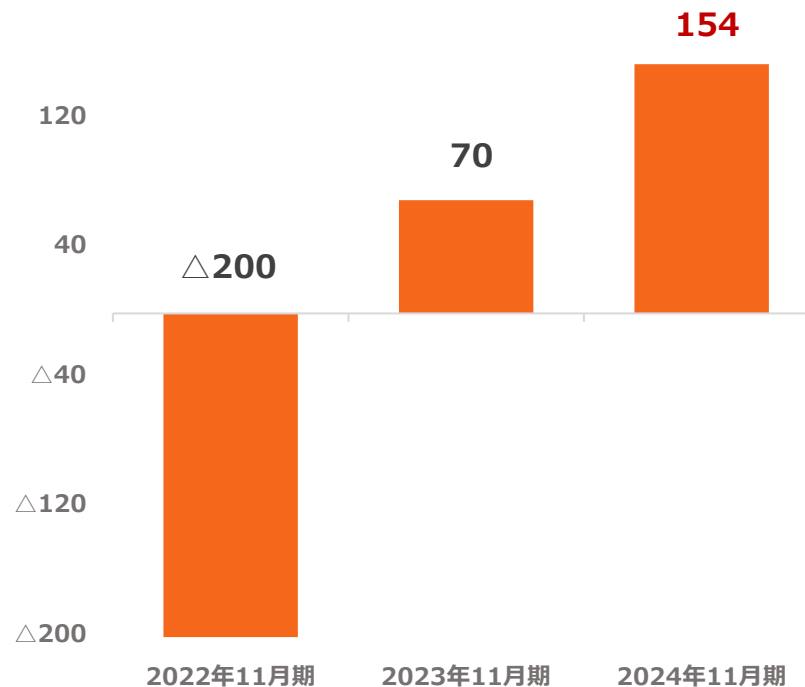
売上高の推移

(単位：百万円)

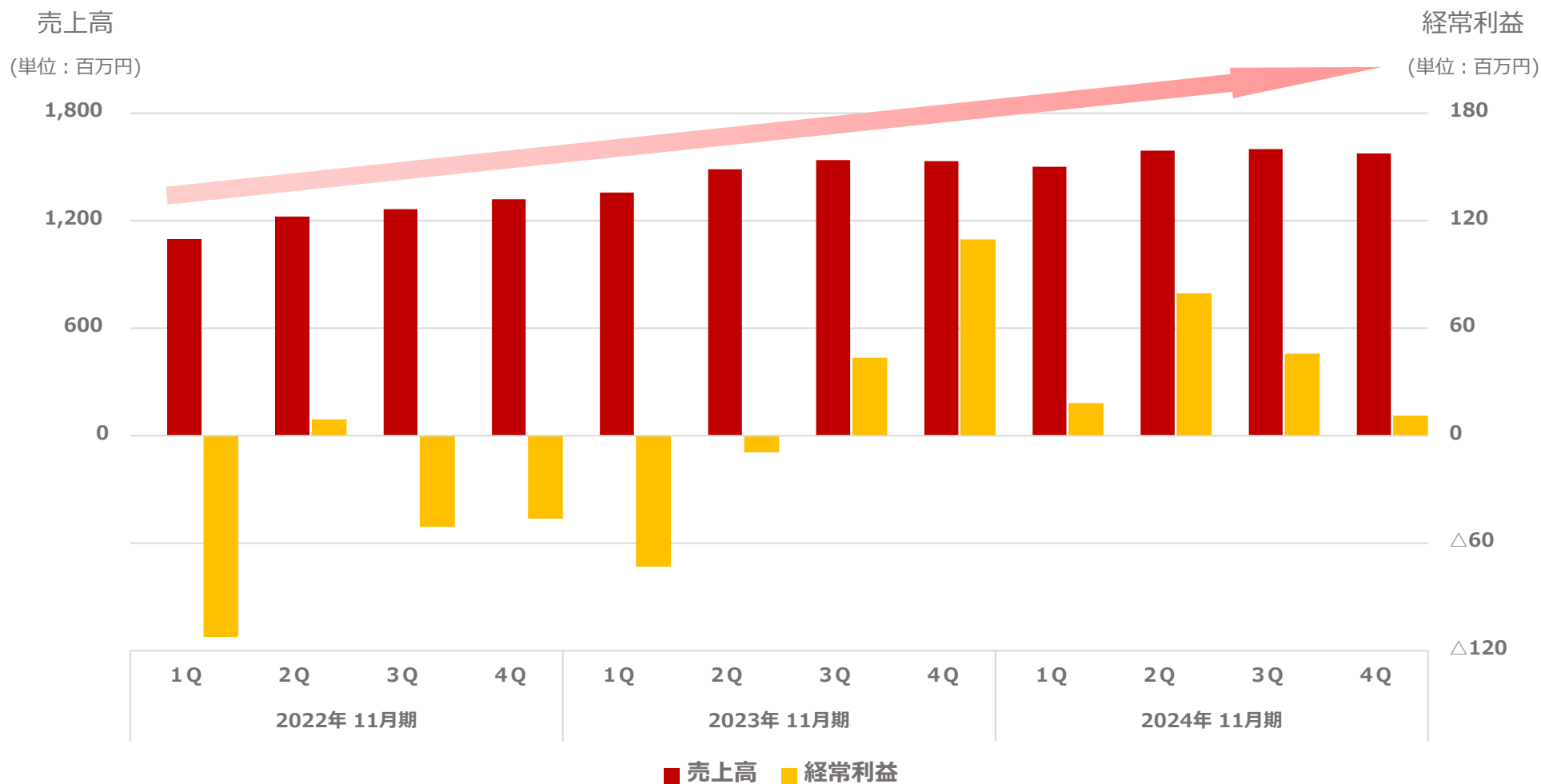


経常利益の推移

(単位：百万円)



■ 2024年11月期は、各四半期を通じて経常利益を確保することができた



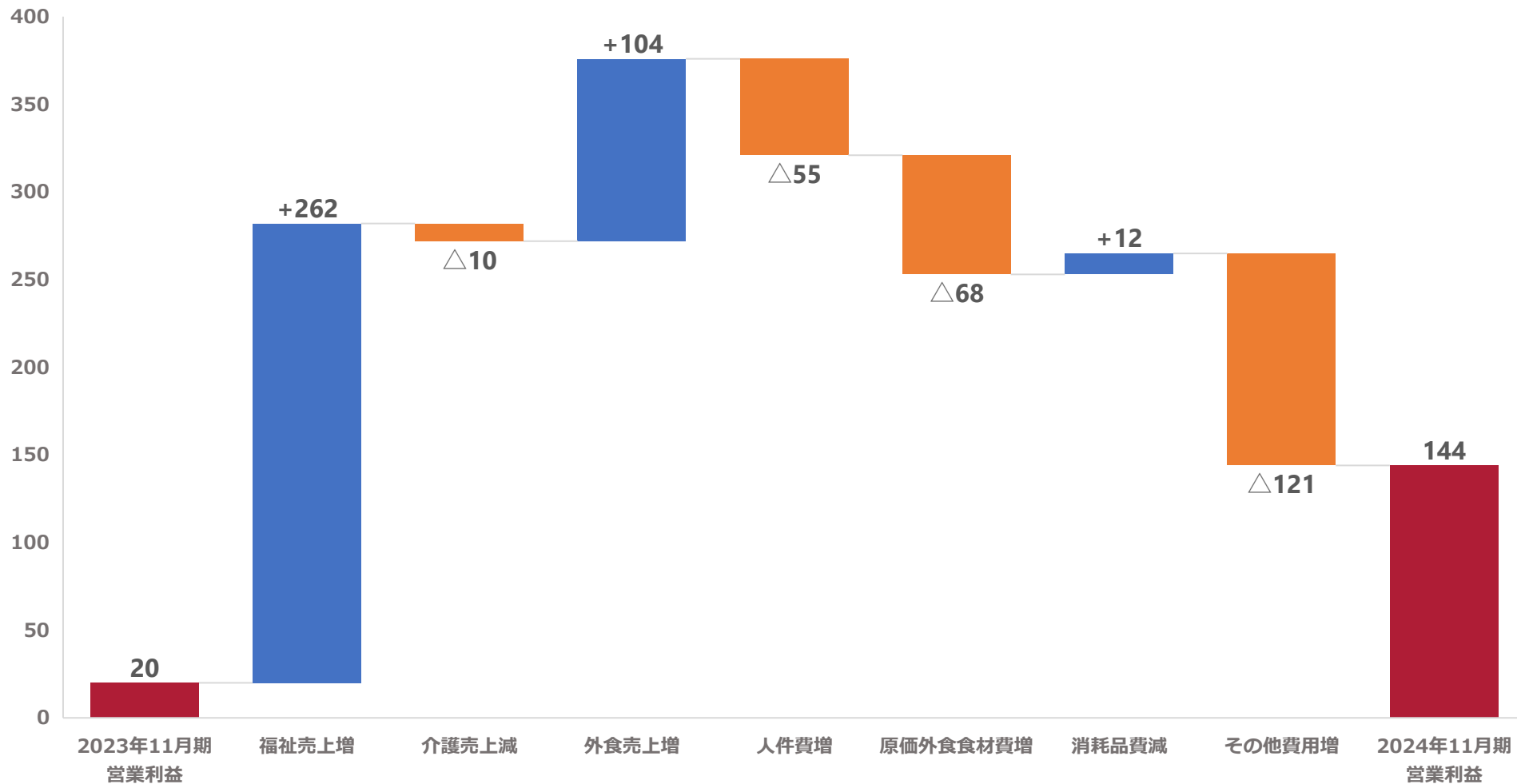
- 売上原価は物価の高騰などで食材費率が増加した一方、消耗品費・水道光熱費は節減することができ、売上原価率の改善に寄与した
- 販売費及び一般管理費については、売掛金の一部に貸倒損失を計上した他、体制強化や本社業務拡大のための費用が増加した

(単位：百万円)

	2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)		2024年11月期 実績 (2023/12~2024/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	5,915	100.0%	6,268	100.0%	353	6.0%
売上原価	5,401	91.3%	5,569	88.8%	167	3.1%
(人件費)	2,634	44.5%	2,693	43.0%	59	2.2%
(原価外食食材費)	549	9.3%	618	9.9%	68	12.4%
(消耗品費)	112	1.9%	96	1.5%	△15	△14.1%
(水道光熱費)	130	2.2%	124	2.0%	△6	△5.0%
(その他)	1,974	33.4%	2,037	32.5%	62	3.2%
販売費及び一般管理費	493	8.3%	554	8.8%	61	12.4%
(人件費)	93	1.6%	90	1.4%	△3	△4.0%
(その他)	399	6.8%	464	7.4%	64	16.2%
営業利益	20	0.3%	144	2.3%	124	609.0%



(単位：百万円)



- 福祉事業は前期開設事業所の順調な立ち上がりと既存事業所の稼働が向上し、売上高・営業利益ともに前期を上回った
- 介護事業は3事業所を閉鎖したため、前期比で売上高は下回ったものの、人員の再配置などで運営の効率化を図り営業利益(損失)は改善した
- 外食事業は前期開店の店舗が順調に推移し、売上高・営業利益ともに前期・予想を上回った

(単位：百万円)

		2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)	2024年11月期 予想 (2023/12~2024/11)	2024年11月期 実績 (2023/12~2024/11)	前期比 増減額	修正予想比 増減額
		金額	金額	金額		
福祉事業	売上高	3,170	3,421	3,432	262	10
	営業利益	151	268	267	115	△1
介護事業	売上高	1,654	1,636	1,643	△10	7
	営業利益	△40	△11	△28	11	△16
外食事業	売上高	1,088	1,179	1,192	104	13
	営業利益	47	79	80	33	1
調整額	売上高	2	-	-	△2	-
	営業利益	△138	△185	△174	△36	10
計	売上高	5,915	6,236	6,268	353	31
	営業利益	20	151	144	124	△6

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2024年11月期は合計2事業所を開設

修正計画(通期) : グループホーム1(10居室)、就労継続支援B型1
 実績(通期) : グループホーム1(10居室)、就労継続支援B型1

■ 福祉事業：2事業所開設

就労継続支援B型 1事業所

- ・「TODAY弁天」(2月)

グループホーム 1事業所

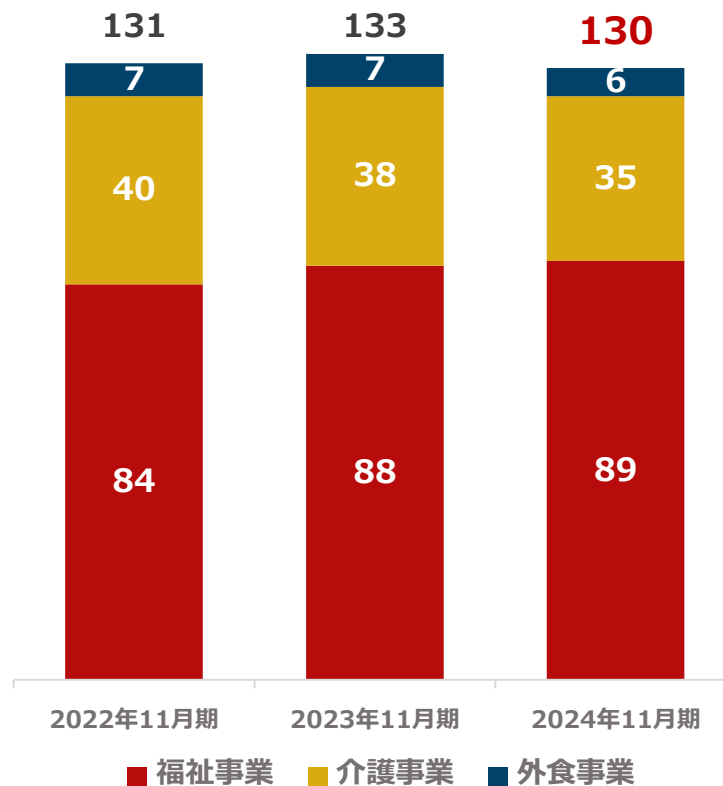
- ・「Beetle高倉町2号館」(10月)

就労移行支援事業所を1事業所リニューアル

- ・「就労移行支援TODAY吉祥寺」
→「manaby吉祥寺事業所」(8月)

※福祉 グループホーム 1事業所閉鎖
 介護 デイサービス 3事業所閉鎖
 外食 居酒屋 1店舗 閉店

事業所数の推移



(単位：百万円)

	2023年11月期実績	2024年11月期実績	前期比 増減額
流動資産	3,188	3,568	380
固定資産	2,058	2,229	171
(有形固定資産)	1,225	1,239	13
(無形固定資産)	340	303	△37
(投資その他の資産)	491	686	194
総資産	5,246	5,798	551
負債	4,089	4,593	503
(流動負債)	972	1,251	278
(固定負債)	3,116	3,341	224
純資産	1,157	1,204	47

■ 流動資産の増減要因

- 売上高増加による現金及び預金の増加 (+371百万円)

■ 固定資産の増減要因

- 投資不動産の取得による増加(+95百万円)
- 投資有価証券の取得による増加(+89百万円)

■ 負債の増減要因

- 借入金の増加(+349百万円)
- 未払法人税の増加(+43百万円)

■ 純資産の増減要因

- 繰越利益剰余金の増加(+98百万円)
- 自己株式の増加(△34百万円)



(単位：百万円)

	2023年11月期 実績	2024年11月期 実績
税金等調整前当期純利益	75	148
営業活動によるCF	97	439
有形固定資産の取得による支出	△364	△224
有形固定資産の売却による収入	315	1
投資有価証券の取得による支出	-	△89
事業譲受による支出	△23	-
投資活動によるCF	△94	△358
長期借入れによる収入	560	933
借入金返済による支出	△521	△583
自己株式の取得による支出	-	△58
財務活動によるCF	△15	290
現金及び現金同等物の増減額	△11	371
現金及び現金同等物の期首残高	2,058	2,047
現金及び現金同等物の期末残高	2,047	2,419



1	2024年11月期 実績	3P
2	2024年11月期 主要取組事項	14P
3	2025年11月期 通期業績予想	18P
4	成長戦略	24P
5	補足資料（会社・事業概要）	29P



2024年11月期は次年度以降の成長に向けた地盤作りを推進

事業所の開設・転換

福祉事業所の開設

- 就労継続支援 B 型
千葉県に 1 事業所を開設
- 共同生活援助(グループホーム)
東京都に 1 事業所(10居室)を開設
- 就労移行支援
東京都の既存 1 事業所をmanaby業態に転換

新たな成長に向けた
体制の構築

不振事業所の整理

- 介護事業所を 3 事業所閉鎖
営業体制の効率化
福祉・介護の事業を越えた人材の再配置
- 外食事業所を 1 店舗閉鎖
効率的な店舗への人材の再配置



報酬改定の対応

改定に対応した体制の整備

- 運営効率の向上
サービス提供時間帯の調整・変更
- 改定に対応した人材の再配置
加算要件に応じた実務経験者の適正配置

新たな成長ドライバー
の導入

2社と資本業務提携を締結

- 株式会社manaby(就労移行支援)
- 株式会社パパゲーノ(就労継続支援B型・DX)
※2024年12月1日 完全子会社化





- 就労移行支援事業所「TODAY吉祥寺」を「manaby吉祥寺事業所」として2024年8月1日にリニューアルオープン
- manaby独自のeラーニングを活用した学びの場を提供開始
 - ※外出困難な方でも自宅でビジネススキルを学べる仕組みの導入
 - ※Webデザインやプログラミングなどのコンテンツも充実



- 就労継続支援B型事業所「TODAY弁天」にて「パパゲーノ Work&Recovery」の運営プログラムを導入
- 就労継続支援B型事業所「TODAY喜多見」にて生成AIを活用した業務効率化を支援する「AI支援さん」を導入



1	2024年11月期 実績	3P
2	2024年11月期 主要取組事項	14P
3	2025年11月期 通期業績予想	18P
4	成長戦略	24P
5	補足資料（会社・事業概要）	29P



- 事業所の新規開設を加速するとともに、完全子会社化したパパゲーノで取り組んでいる支援記録アプリの導入を進め、事業の拡大を図る
- 売上高は6,622百万円(前期比5.6%増)、営業利益は172百万円(前期比18.7%増)、経常利益は163百万円(前期比5.4%増)と予想

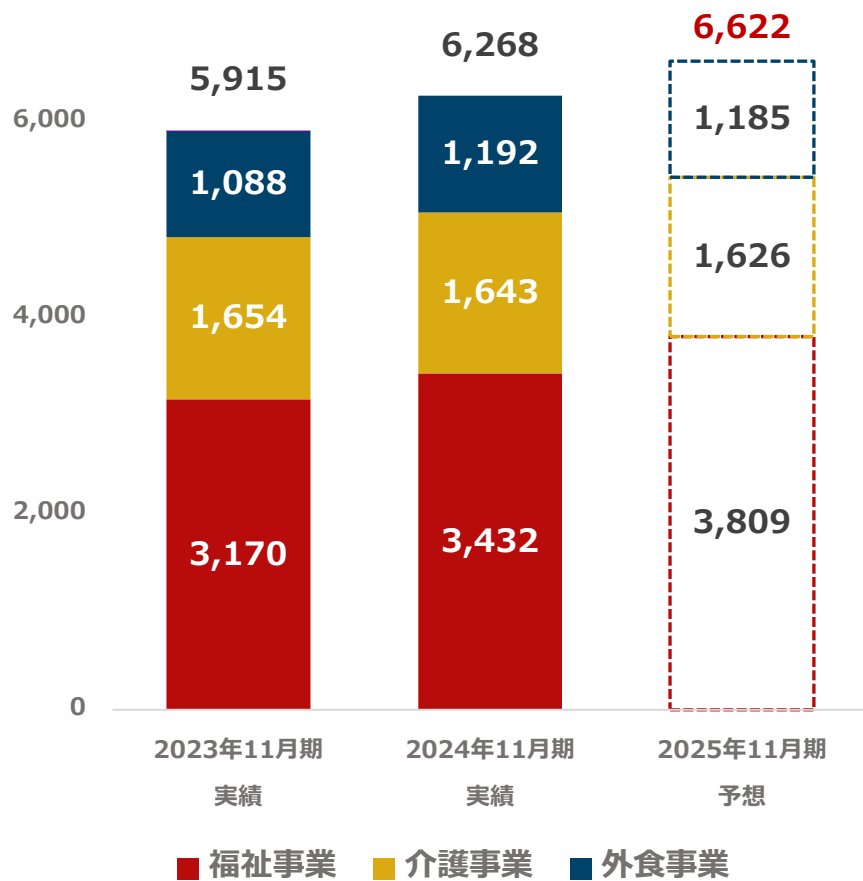
(単位：百万円)

	2024年11月期 実績 (2023/12~2024/11)		2025年11月期 予想 (2024/12~2025/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	6,268	100.0%	6,622	100.0%	353	5.6%
営業利益	144	2.3%	172	2.6%	27	18.7%
経常利益	154	2.5%	163	2.5%	8	5.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	98	1.6%	110	1.7%	12	12.4%



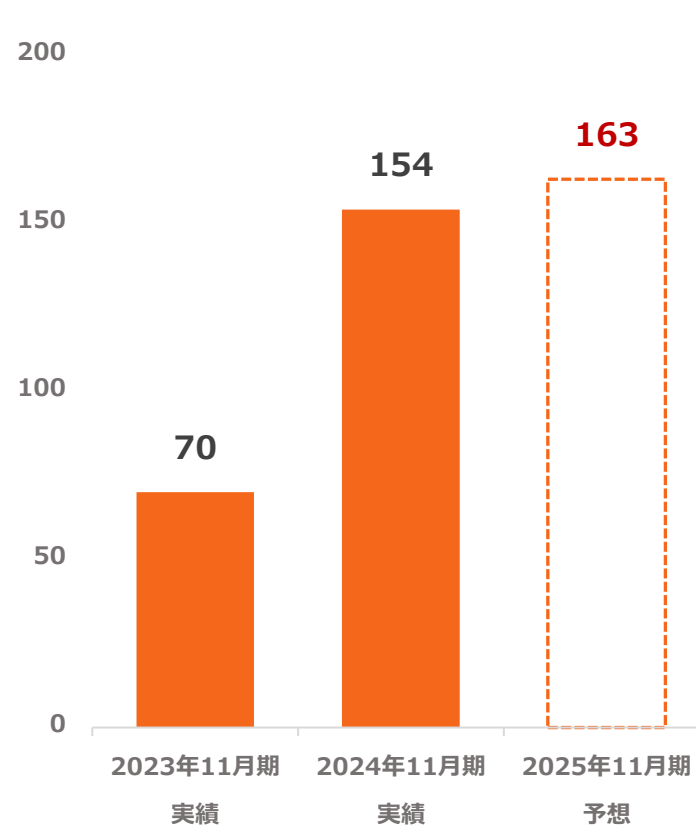
売上高の推移

(単位：百万円)



経常利益の推移

(単位：百万円)



- 福祉事業は「就労継続支援B型事業所」や「生活介護事業所」を中心とした出店を強化
- 介護事業は前期閉鎖した施設の影響もあるものの効率化を進め収益改善を想定
- 外食事業は前期閉店した影響および物価の高騰による影響を考慮

(単位：百万円)

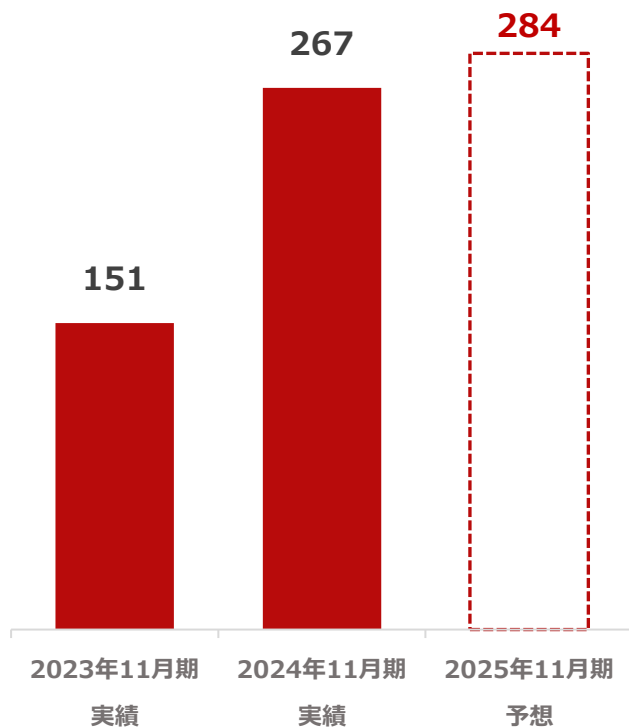
		2024年11月期 実績 (2023/12~2024/11)	2025年11月期 予想 (2024/12~2025/11)	前期比 増減額	前期比 増減率
		金額	金額		
福祉事業	売上高	3,432	3,809	377	11.0%
	営業利益	267	284	17	6.4%
介護事業	売上高	1,643	1,626	△16	△1.0%
	営業利益	△28	39	67	—
外食事業	売上高	1,192	1,185	△7	△0.6%
	営業利益	80	64	△16	△20.1%
調整額	売上高	—	—	—	—
	営業利益	△174	△216	△41	—
計	売上高	6,268	6,622	353	5.6%
	営業利益	144	172	27	18.7%

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去

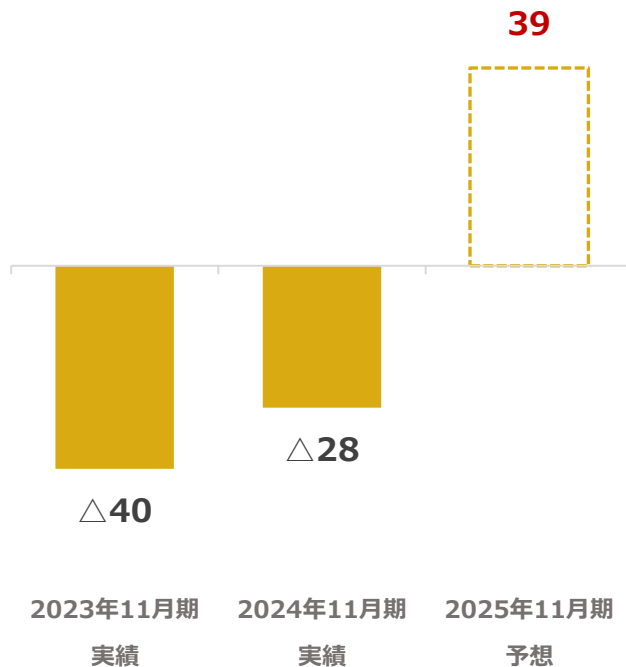


(単位：百万円)

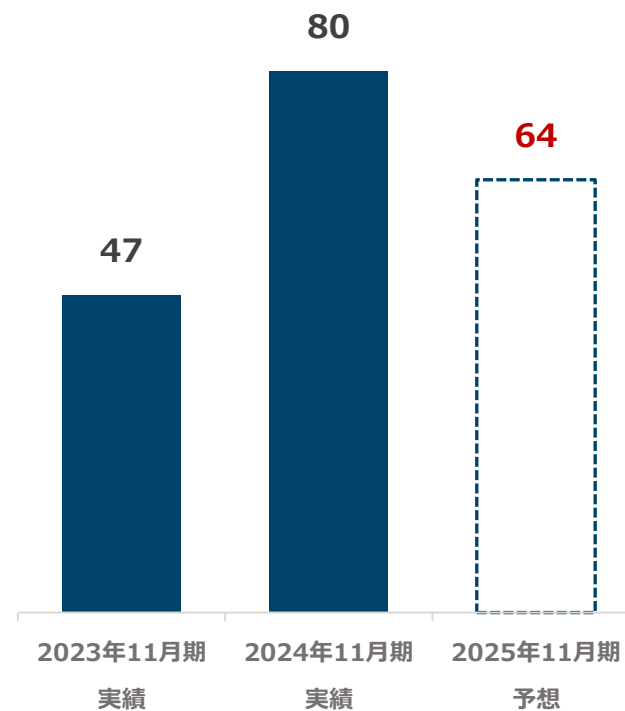
福祉事業



介護事業



外食事業



2025年11月期は合計6事業所の開設計画

■ 福祉事業：6事業所の開設計画

就労継続支援B型事業所 2事業所

- ・東京都 「パパゲーノ Work & Recovery 用賀」
他1事業所

生活介護 2事業所

- ・千葉県 「アプリケアワークス蘇我」
- ・埼玉県 1事業所

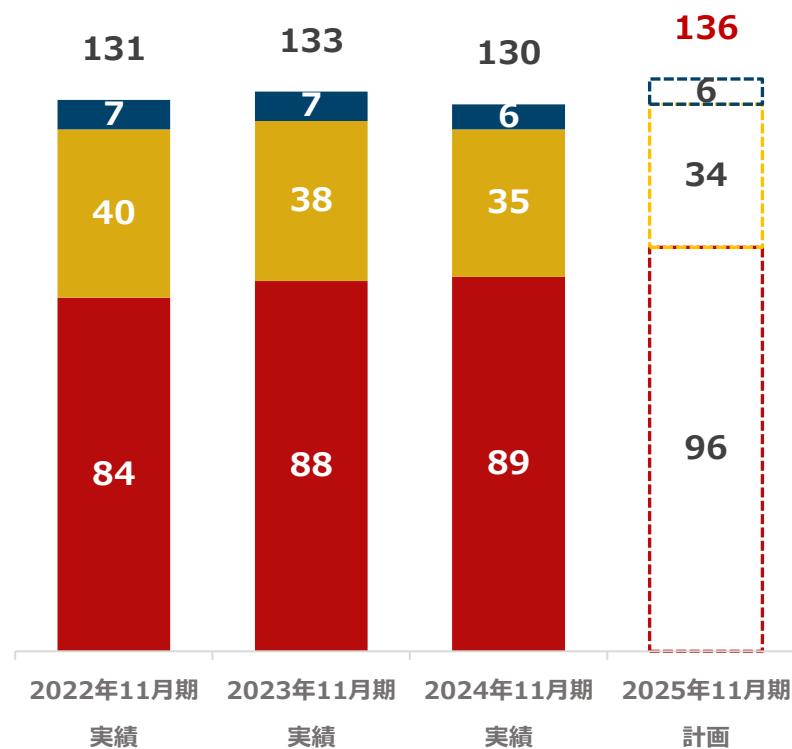
共同生活援助（グループホーム） 1事業所

- ・神奈川県 1事業所(7居室)

児童発達支援 1事業所

- ・三重県 「アプリキッズ四日市小古曽」

事業所数の推移



■ 福祉事業 ■ 介護事業 ■ 外食事業



1	2024年11月期 実績	3P
2	2024年11月期 主要取組事項	14P
3	2025年11月期 通期業績予想	18P
4	成長戦略	24P
5	補足資料（会社・事業概要）	29P



事業の拡大とDXの推進により新たなステージを目指す

①事業の拡大

事業所の新規開設を加速

- 福祉事業所を6事業所開設
「就労継続支援B型」「生活介護」の需要に対応
「共同生活援助(グループホーム)」も充実させる
- パパゲーノ型事業所の拡大
- M&Aによる事業の拡大も継続

AI支援記録アプリ「AI支援さん」の販路開拓・拡大

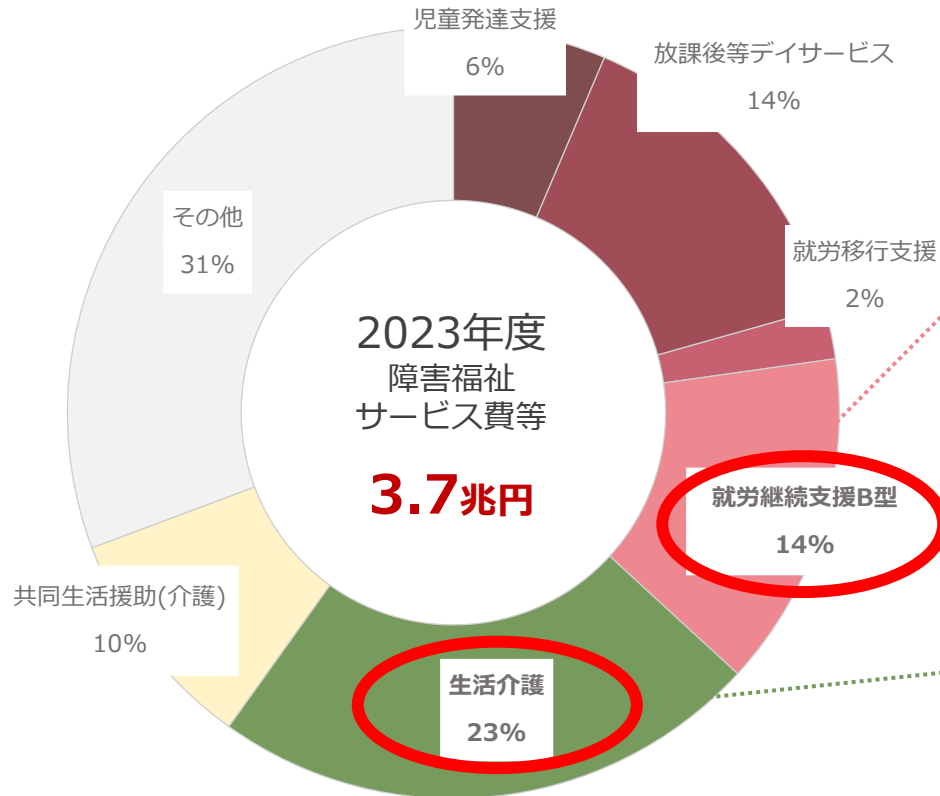
②DXの推進

IT/AIを活用したDXの推進

- ITによる業務効率化
運営支援システムの導入、基幹システムの連携を強化することによる業務の負担減
- AIの活用を浸透
AIを活用し、業務の改革を推進

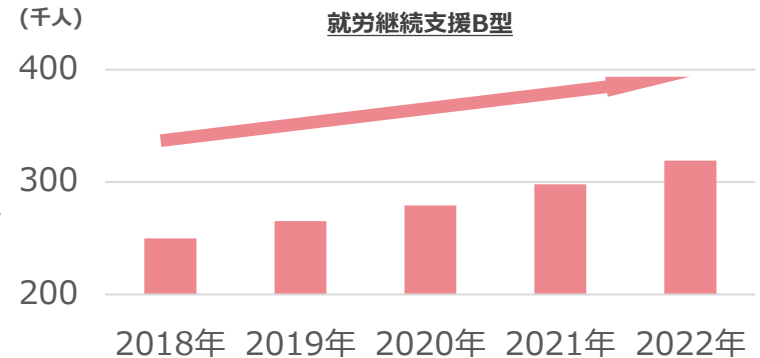
需要が高まっている「就労継続支援B型」「生活介護」の開設を強化

福祉事業の市場規模

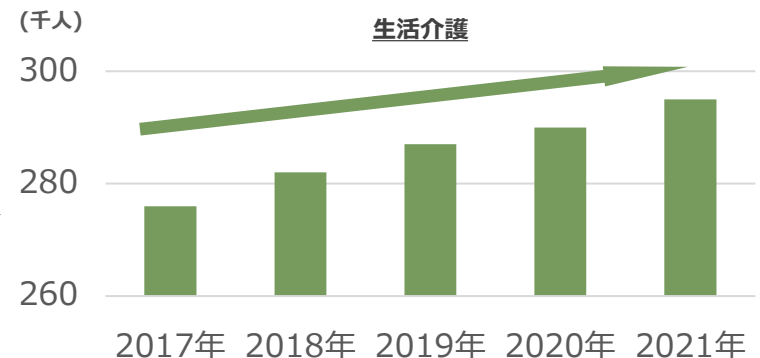


出典：財務省 財政制度等審議会財政制度分科会 議事要旨・提出資料等 2024年11月13日提出資料(参考資料)
「社会保障_障害福祉サービス等の現状」より当社作成

各業態の利用者の推移(月平均)



出典：厚生労働省 障害福祉サービス等報酬改定検討チーム 第38回 2023年10月11日 議事録・資料等(参考資料)
「就労継続支援B型に係る報酬・基準について<論点等>_就労継続支援B型の現状①」より当社作成



出典：厚生労働省 障害福祉サービス等報酬改定検討チーム 第28回 2023年5月22日 議事録・資料等(参考資料)
「障害福祉分野の最近の動向_障害福祉サービス等における主なサービス種類別に見た利用者数の推移(各年度月平均)」より当社作成



当社が展開する就労継続支援 B 型

『自分らしく』働くことができる業態を複数展開
個人に合った様々な作業内容を提供

就労継続支援 B 型事業所

+oday

作業内容

軽作業～幅広く提供

「ヘラクレス飼育」 「菌床しいたけの収穫」



ラシーヌ

けんこうソムリエファーム

作業内容

水耕栽培

「水耕栽培による葉物野菜の収穫」



パパゲーノ
Papageno

ワーク&リカバリー

作業内容

IT 業務に特化

「企業のオフィスに近い環境を提供」



「パパゲーノ Work & Recovery 用賀」
(パパゲーノ型事業所のグループ内 2 号事業所)

2025年3月 オープン予定

就労継続支援 B 型事業所とは

障害などの理由から、一般企業で雇用契約通り働くことが難しい方に対して、就労の機会や生産活動の場を提供
事業者は生産活動に対する対価として「工賃」を支払う

当社が展開する生活介護

『自分らしく』過ごすことを通じ『生きがい』を見出せる生活の場を提供

アプリ
ケアワークス

「ゆっくり過ごせる落ち着いた空間」



1日の流れ

- 9:00～ 送迎
- 10:20～ 午前の活動(生産活動・訓練)
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 午後の活動(生産活動・訓練・外出・余暇)
- 15:30～ ティータイム
- 16:00～ 清掃活動
- 16:30～ 送迎

「アプリケアワークス 蘇我」

2025年2月 オープン予定

生活介護とは

常に介護を必要とする方に、主に昼間において、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供



1	2024年11月期 実績	3P
2	2024年11月期 主要取組事項	14P
3	2025年11月期 通期業績予想	18P
4	成長戦略	24P
5	補足資料（会社・事業概要）	29P





当社グループは 社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

会社名	AHCグループ株式会社 (エイエイチシーグループ)
本店所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号
代表者	代表取締役社長 荒木喜貴
設立	2010年1月
資本金	54,119千円 (2024年11月30日現在)
従業員人数	474人 (2024年11月30日現在) ※パート・アルバイト除く
業種	福祉事業、介護事業、外食事業 他

グループ会社 (連結子会社)

- S Lカンパニー株式会社 (福祉事業所の運営)
- テラスワールド株式会社 (福祉事業所の運営)
- 介護ジャパン株式会社 (介護事業所の運営)
- センターネットワーク株式会社
(食材の仕入・加工・物流)
- 株式会社 R A I S E (福祉事業所の運営)
- 株式会社 C O N F E L (福祉事業所の運営)
- 株式会社 パパゲーノ (福祉事業所の運営・DX支援)
※2024年12月1日～



福祉・介護・外食の3事業を中核として事業展開



働くこと・自立していくことを実現させる多様なサービスを提供

福祉事業：業態別概要

《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害を抱える未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流促進につながる外出プログラム等を提供

《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害や難病を持つ方に、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労実現を支援

《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約どおりの就業が困難な障害を持つ方に、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供

《共同生活援助(グループホーム)》(介護包括型・日中支援型)

共同生活を営む住居を提供

障害を持つ方に、共同生活を営む住居で相談や入浴、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施

《生活介護》

介護を必要とする障害を持つ方に、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を実施

地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

介護事業：通所介護(デイサービス)概要

《デイサービス クラス》

日常に近い環境の中で過ごして頂くことができるデイサービス
朝食と夕食・宿泊サービスを実施し、24時間切れ目のない介護を提供

《デイサービス あいである》

1日の通所型レクリエーションが充実しているデイサービス
大浴場を設置し、入浴サービスを実施

《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

午前又は午後の短時間型で機能訓練を中心としたデイサービス
スクエアステップエクササイズにより認知機能・歩行機能の向上
自立度が高いご利用者様が多く、集団体操の他、個別対応時間を多く提供

《デイサービス グリーンデイ》

1日の通所型で入浴とリハビリを両立したデイサービス
ストレッチ・コアエクササイズ・マシントレーニングの機能訓練メニューを提供
プライバシーを守るため、個別入浴サービスを実施

《デイサービス トリコロール》

1日の通所型で食・運動・娯楽にこだわったサービスを曜日毎にプログラムを変えて実施しているデイサービス

働く世代をメインターゲットにした店舗を展開

外食事業：業態別概要

《ねぎま三ぞう》

30～40代のサラリーマン層をメインターゲットとして「ねぎま」「煮込み」「鮮魚」をメニューの柱とした高品質・低価格を実現した大衆居酒屋業態

《ニュー大衆居酒屋三ぞう》

20～30代の若者をメインターゲットとして「煮込み」「餃子」「牛タン」「ねぎま」を名物とした現代らしいモダンでお洒落な雰囲気の大衆居酒屋業態

《Bistro TERIYAKI》

ワインと本格ビストロをリーズナブルに提供する居酒屋業態
デートやお祝い、歓送迎会などハレの日の需要に対応

「生きててよかった」と誰もが実感できる社会を目指して、精神障害に関するリカバリーを求める神奈川県立保健福祉大学発ベンチャー



「生きててよかった」と誰もが実感できる社会

会社名	株式会社 パパゲーン
代表取締役	田中 康雅
設立	2022年 3月
資本金	10百万円
事業内容	企業向けDX支援事業 ワーク&リカバリー事業(就労継続支援B型) AI支援記録アプリ「AI支援さん」の開発 リカバリーナラティブ事業

企業のDXに障害のある方が貢献



企業の営業事務、Webデザイン、ライティング等を受託
IT/AIを活用して障害のある方が活躍できるような環境を調整

生成AIで個人の可能性を広げる



「一人ひとりが自分らしく働ける社会をつくる」をミッションとして、障害福祉事業所の運営とITスキルを学べるオンライン学習サービスを提供



一人ひとりが自分らしく働ける社会をつくる

manabyのeラーニング

デザイン・Web制作スキル

【デザイン】
Illustrator
Photoshop

【Web制作】
WordPress など

プログラミングスキル

【プログラミング言語】
HTML/CSS
JavaScript
PHP

など

事務系スキル

【Office】
Excel/Word/PowerPoint
VBA
MOS対策

など

その他

ビジネスマナー
セルフコーチング
ビジネス英語

など

会社名

株式会社 manaby (TOKYO PRO Market)

代表取締役

岡崎 衛

設立

2016年 6月

資本金

116百万円

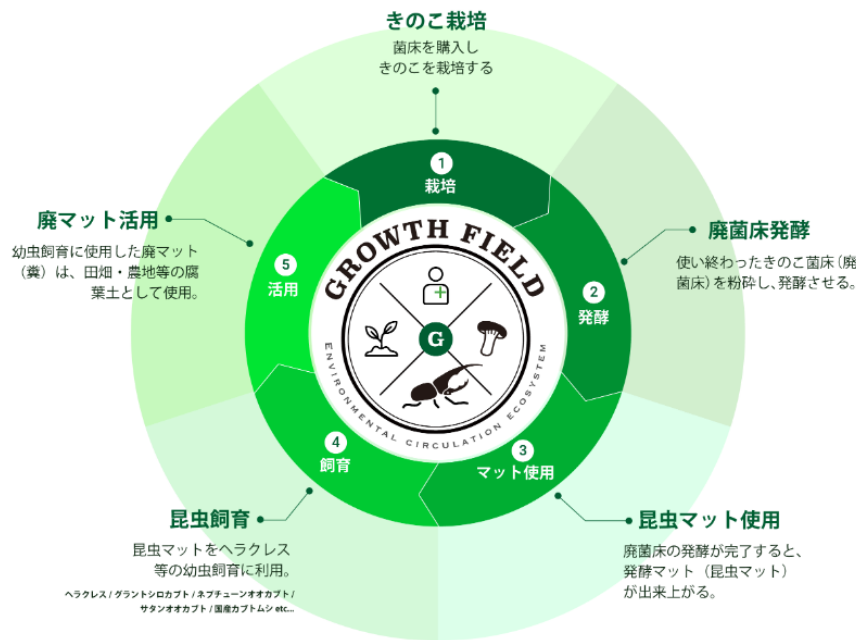
事業内容

就労移行支援事業
就労継続支援 B 型事業
一般向け eラーニング+カウンセリング事業
システムエンジニアリングサービス事業
障害児通所支援事業



持続可能な社会への貢献を目指す環境循環型モデル事業

- ①障害福祉サービス事業とともに、循環型のきのこ栽培・販売、昆虫飼育・販売を実現する
- ②付加価値の高い仕事場の提供(福祉課題の解決)



「きのこハウス」
(菌床椎茸の栽培・販売)



「ヘラクレスデザインラボ」
(ヘラクレスオオカブト等の飼育・販売)



施設外就労 作業工賃



AHCグループは、『人を想う』という共通理念の下、多様な価値観を認め合い、すべての人が自分らしく活躍できる社会の実現を目指しております。

この実現に向け、関わり合うすべての人が希望にあふれる未来を創造できるよう社会福祉を中心に事業活動を行い、ご利用者様、株主様、お取引先様、従業員、地域社会等すべてのステークホルダーとの良好な関係を築き、中長期的な企業価値の向上に努めることで、持続可能で豊かな社会づくりに貢献してまいります。

マテリアリティ

取り組みテーマ

Environment
(環境)

環境負荷の低減



- 省エネルギー製品の導入
- 食材の有効活用

Social
(社会)

健康的な生活環境の提供



- 生活レベルの維持・向上を促す施設の提供
- 障害者・高齢者に配慮した福祉サービスの提供

働きがいのある職場の提供



- 柔軟で安全・安心な労働環境の促進

質の高い教育の場の提供



- 利用者の療育活動や生涯学習機会の提供
- 従業員への教育機会の創出

差別のない公平な社会の実現



- ダイバーシティ & インクルージョンの推進
- あらゆる形態の暴力・虐待の排除

Governance
(ガバナンス)

ガバナンス体制の強化



- 持続可能な経営基盤構築の推進



配当政策の基本方針

中長期的な企業価値の向上に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な利益還元を業績に応じて適正に行う

1株当たり配当

(連結)	中間	期末	通期
2024年11月期	-	10円 (初配)	10円
2025年11月期 (予想)	-	12円	12円

自己株式取得：経営環境の変化を考慮しながら、今後も継続的に取得を検討・実施



関わる全ての人を想う
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、
想いを深く広げていく先に、
希望にあふれる未来を創造します

免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 経営管理部 IR担当

TEL : 03-6240-9550

E-mail : info-ir@ahc.co.jp

